

今月のゼロカーボンアクション



Zero Carbon City

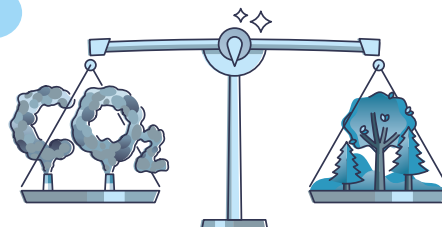
ゼロカーボンシティの実現に向けて



ゼロカーボンってなに？

ゼロカーボン（CO₂ 排出量実質ゼロ）とは、CO₂ などの温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引くことで、合計を実質的にゼロにすることをいいます。

それを実現するためには、二酸化炭素の排出量を削減し、森林保全等による吸収量を確保することが重要です。



地球温暖化の市内の現状とその影響

アメダスデータによれば、飛騨市の年平均気温はこの30年間で約0.7℃も上昇し、真夏日や猛暑日が顕著に増加し、降雪量が大きく減少しています。短時間に急激に降る雨の量も一部で増加傾向が見られ、気候の変化が顕著にみられます。市内における温暖化による最大のリスクは気象災害の頻発・激甚化です。市域の大半が山間地であるため土砂災害や河川氾濫が生じ、点在する集落が孤立する可能性が高まると考えられます。また、市の特産品の生育不足や品質低下、自然資源（雪・景観）に関連する観光・レジャー産業への影響も懸念されます。生活面では、生鮮食品の価格変動や冷暖房の利用に伴う家計負担の増加のほか、熱中症や感染症などのリスクも高まることが予想されます。



平成30年7月豪雨災害



スキー場の雪不足

豊かな自然と調和した持続可能なまちに向けて

NEWS 令和4年3月 飛騨市ゼロカーボンシティ宣言

国際社会の一員として、美しい自然や伝統文化を次世代へと引き継いでいくため、令和4年3月に「飛騨市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。脱炭素社会の実現に向けて 2050 年までに市内の CO₂ 排出量を実質ゼロにすることを目指しています。

NEWS 令和6年3月 飛騨市脱炭素推進ビジョンの策定

市内の CO₂ 排出量と再生可能エネルギー（再エネ）の現状を整理し、CO₂ 排出量削減・再エネ導入目標や、今後の取組の土台を定めた脱炭素推進ビジョンを策定しました。将来を見据えた地域のありたい姿を「豊かな自然と調和した持続可能なまち」と設定し、CO₂ 排出量を抑制する「緩和」、温暖化の影響に備える「適応」、その両面を併せ持つ「再生可能エネルギー導入」の3つの観点から対策に取り組みます。

▲飛騨市脱炭素
推進ビジョン
(飛騨市)

ひとりひとりが協力し行動しよう

二酸化炭素の排出量削減に向けて、市においても様々な取り組みを推進していきます。ゼロカーボンシティの実現に向けては、市民・事業者・行政が主体となった行動・協力が不可欠です。まずは、身近なところからゼロカーボンに取り組んでいきましょう。こうした家庭や職場でのゼロカーボンへの取組を「デコ活」と言います。

【デコ活アクション】（環境省より）

- ① 電気も省エネ 断熱住宅（電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む）
- ② こだわる楽しさ エコグッズ（LED・省エネ家電などを選ぶ）
- ③ 感謝の心 食べ残しゼロ（食品の食べ切り、食材の使い切り）
- ④ つながるオフィス テレワーク（どこでもつながれば、そこが仕事場に）

▲デコ活 HP
(環境省)

飛騨市学園構想

SUPER COMMUNITY SCHOOL

神岡小中学校支援部の活動



飛騨市学園構想の「対話にあふれた地域学校協働活動」の取組の一例をお伝えします。

◆神岡小中「学校支援部」とは？

今回は、神岡小中地域学校協働本部の学校支援部の活動を紹介します。学校支援部は、学校長の経営方針を受け、育てたい子ども像に向かう支援活動を神岡で展開することを目的として活動しています。「負担感を減らす」をキーワードに、持続可能な活動を重視しています。

具体的な活動としては、中学校の

「神岡FIELD学」、小学校の「ふるさと学習」の支援、さらに、英語や漢字の検定、「夏休み学習日」などを実施しています。

児童生徒がやらされて学ぶのではなく、意欲的に取り組めるよう、そして教師も見通しをもって、安心して教育活動に取り組めるように支援することを目指しています。



昨年度の「夏休み学習日」の様子

◆「夏休み学習日」とは？

「夏休み学習日」は、夏休みの終わり頃に実施しており、小中学生が同じ場所に集まって、教え合いながら学んでいます。参加している児童生徒は夏休みの宿題や、苦手な学習の

克服などに取り組んでいます。

今年度は、8月20日(火)～22日(木)の3日間、神岡町公民館で9:00～12:00に開催予定です。児童生徒はもちろん、その様子を見守り、サポートして下さる地域ボランティアを募集しています。高校生の参加も大歓迎です！詳しくは学校支援部の林義成(090-7027-8010)まで。

神岡小中学校支援部 林義成

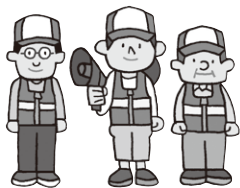


昨年度行われた「夏休み学習日」で、上級生が下級生に教える姿

問 学校教育課 ☎ 0577-73-7494

飛騨の防災

おまかせさん



はじめまして！私たちは、飛騨市防災士会です。今回『防災士会の活動』について連載することになりました。市民の皆さんに、防災士会について少しでも知っていただけたらと思っています。よろしくお願いします！

■飛騨市防災士会って何？

飛騨市防災士会は、2019年3月21日に発会した、飛騨市内の防災組織です。会員は約250名で、年齢層も10代から80代までと幅広いです。

飛騨市防災士会の活動

①市内の小中学校での防災授業

ゲームなども取り入れながら災害時のシミュレーションを行います。

②地域の防災活動

『防災タウンウォッチング』というイベントも、実は防災士会の活動です。今年度も行う予定です。

③企業様向け防災研修

災害シミュレーションゲームや企業間のアイデア交換ができる研修を行っています。

④防災倉庫点検

各地区に存在する計17ヶ所の防災倉庫を、年に2回点検します。数はあっているか、消費期限が過ぎているか一つ一つチェックします。

⑤市指定避難所運営の協力

飛騨市は、独自の取り組みとして『避難所運営協力防災士』の養成を行っています。その養成研修会を受けた防災士は、避難所運営の協力をします。



2024. 4. 6 防災士会主催イベントにて

さらに詳しく情報を発信しています。下コードからぜひご覧ください！



こんにちは 市民病院です

看護師の役割

飛騨市民病院 看護部長
荒家 千夏

飛騨市民病院は「患者さん中心の看護」を看護部の理念として掲げています。

病気や怪我と向きあう患者さんにご家族の思いを尊重し、患者さんを心身ともに良い状態へ導けるよう支援することが、私たち看護師としての使命と考えます。

当院は、急性期・回復期・慢性期・終末期に対応する入院病棟を有し、患者さんやご家族の思いに寄り添い、その人らしく暮らしていける支援を行っています。

飛騨市では、高齢化がどんどん加速し高齢化率は40%を超えています。このような中で当院は少子高齢化社会のニーズを捉え、入院患者さんがリハビリなどを行うことで、住みなれた地域での生活に戻っていたくための治療を行う地域包括ケア病床や、安心して入院生活を送り、自宅へ帰るための入退院支援など地域包括ケアシステムを推進しています。

高齢者に対する支援を実践するためには、相応の知識や技術の習得と合わせて、家庭での暮らしや生活されている地域を知ることも重要な要素となります。患者さんを生活者としてこの先の地域での生活を見据えた看護を提供するために、地域の関連施設と連携し、入院から外来そして地域での生活へとつなぎ、患者さん自身がその人らしい生活ができるように努めています。

また、看護の質をより良いものにし、患者さんの安全を第一に考えていくためには、日々の看護の実践の中で、看護師だけではなく他の医療スタッフや、ご家族等とのコミュニケーションを大切にし、自分の考えや思いを言葉にして相手に伝え合うことが大切です。共に気づいて学び合いができる体制をつくることを常日頃から心がけています。

誰からも「ここに来て良かった、この病院があって安心だ」と思っていただけるよう、また働くスタッフからは「ここで働けて良かった」、と思いながら働き続けられる病院づくりを目指しています。

問 飛騨市民病院

☎ 0578-82-1150



そろそろ 終活

<その52> はじめませんか？

みんなで取り組む メリット

自分の気持ちや行動次第で、何とか解決できそうで、できないのが「家の片付け」ではないかと思っています。

頭の中では分かっている、なかなか取り掛かれない、どこからどのように始めたらよいのか分からない、そんな方は案外たくさんいます。

中には、片付け始めたけれど、これはまだ使える、これを捨てるのはもったいない、出来ればリサイクルショップで売れないか…などと、捨てることの後ろめたさから何とか逃れられないものかとあがいてみたり

もします。

しかし、結局物は減らず、保留中の物ばかりが増えていくだけで、そのうち諦めの方が先に立ち、いつかは片づけられる、差し当たって今の生活で困ることはないと思い直してしまうのです。

片付けは、決断力のいる孤独で地道な作業の連続です。とすると挫折しがちなこの作業を続けていくには、同じ志を持つ仲間が存在が一番ではないかと思っています。

飛騨市終活支援センターでは、片付けの支援として昨年度に続き、今年度も片付けワークショップを開催します。自宅の片付けについて仲間と語り合うことは、自分一人ではないという連帯感とともに、続ける励みにもなります。思うように片付けが進まない、なかなか取り掛かれない人は『みんなで取り組む』ことを考えてみてはいかがでしょうか。

みんなで取り組む 『片付けワークショップ』

■日程と内容

- ・ 7月28日(日)13:30 ~ 15:00
ワークショップ説明と片付け方法
- ・ 8月25日(日)13:30 ~ 15:00
1回目の振り返りと成果の報告
- ・ 9月29日(日)10:00 ~ 11:30
2回目の振り返りと成果の報告

■会場 ハートピア古川 2F
ボランティアルーム

※1回目が必ず参加できる方に限ります



問 予 飛騨市終活支援センター
(飛騨市社会福祉協議会内)

☎ 0577-73-3214